

地域の話

宇野小学校の中に

コミュニティハウス?

宇野小学校の体育館の下に、コミュニティハウスをつくる話が突然でてきて、父母たちをびびくりさせています。

宇野小学校は、児童ひとり当たりの運動場の広さが、基準の三分の一しかありません。だから、体育館の下も運動場がわりに使っているのです。学童クラブもあります。放課後子ども活動する場所として使われているのです。

ここに一般の人たちが出入りするハウスをつくる、駐車場も必要になるし、学校運営

にも問題が出てくるかもしれません。

もちろん、学区にコミュニティハウスは必要です。だったら、子どもの動きに支障がないように、児童の親や関係者の意見をよく聞いて、みんなの納得いく方法でつくってほしいです。みんなの声を広く聞いてほしいものです。



岡山市立宇野小学校の体育館



8月2・3日、秋田県で第49回母親大会が行なわれ、延べ1万7千人が集いました。平和といのちを守り、憲法9条を世界に響かせる思いを一つにしました。上は角館駅に着いた岡山県参加者、左は稲葉市会議員



駐車場は無料に

公民館をとりあげた稲葉議員

稲葉市会議員は、地域では一番身近な市の施設、公民館について、先の定例市議会の質問でとりあげました。学校五日制のもとで将来展望

は？ 駐車場は無料を維持すること、住民サービスは慎重に

操山中学校区に早く公民館を、と地域の要望にもとづく四項目でした。市長、教育長の答弁は 休日の

市長、教育長の答弁は 休日の

いものです。

合併・政令市問題

大きいのは良いことが

「広報誌」市民のひろば おかやま には、「合併して政令市になるといろいろ良いことがある」と書かれています。

でも、ほんとうに、そうでしょうか。たとえば、「全体的に職員数の削減ができます」「三役、議員総数の減少により経費減」と書いてあります。

これでは、区役所がおかれる周辺部は、切り捨て、サービス減ということではないですか。

「市議会議員も区単位に選出されますので、地域の声をよりよく市政に反映させることができます」というのは全く反対で、地域の声など聞いてもらえなくなるでしょう。

かつて第三セクターだ、リゾート法だと、税金をつぎ込んで、結局破綻して税負担だけが残ったわけでしょう。いま、「大きいことは良いことだ」と行政が旗をふるるとき

みんなの声

「小さくても、弱者にゆきとどいた行政を」と願っています。

(A子)